



養花天に花降る

 No. 76
Spring

しょうどしま 議会だより

contents

- 3月定例会
議員注目の
新年度予算
- 1月臨時会
- 一般質問
6人の議員が質問
- 議会あれこれ

2025 令和7年5月1日発行

小豆島町



今定例会は、3月5日から19日までの15日間開催されました。

予算案件10件、条例案件10件、人事案件15件、契約案件4件、その他案件5件が提出されたほか発議3件が審議され、全て原案通り可決されました。

多様な農業人材支援事業

200万円

兼業農家・定年帰農者等、多様な農業人材を新たに支援。



大下議員

農機具の購入補助を行う。農地・農業の維持に必要な制度。幅広い農機を対象にするなど、要件の緩和と予算の拡充を期待する。

中山間地域総合整備事業

1500万円

池田地区畑かん施設のパイプライン更新や池田大池改修工事等を推進。



藤本議員

すべての作物の生産に水の確保は欠かせない。県と協力し、積極的な推進を。

ふるさと納税推進事業

10億円

ふるさと納税の活用により、地場産業振興とまちづくりを推進。



川井議員

ふるさと納税の一部は町のふるさとづくり基金へ積み立て、多方面で利用される財源となる。もっと伸ばしていきたい。

地域経済循環創造事業補助金

8500万円

総務省の事業(ローカル10000プロジェクト)を活用し、町内での新規ビジネスの立ち上げを支援。



高橋議員

7年度はすでに民泊2件、飲食店2件、土産物店1件の申請が出ている。補助事業を活用した島の活性化を期待する。

宿泊税導入検討事業

36万円

観光の島の魅力向上を推進する財源を確保するため、導入に向け国との協議を開始。



塩田議員

小豆2町で持続可能な島の将来を見据えて検討委員会を立ち上げる。検討を期待する。

小豆郡雇用モデル推進事業

1616万円

小豆2町で労働需要に対応するため、派遣の仕組みの創設、短時間雇用や外国人人材の雇用支援を後押し。



鍋谷議員

短時間しか働けない方の雇用や外国人人材の定着が進むことを期待する。

犬猫不妊去勢手術補助金

75万円

飼い犬や猫に去勢・不妊手術をした際に補助。



三木議員

前年度は申請増により2度の補正予算を計上した。今年度予算は前年度の1.5倍を計上している。

寒霞溪の魅力持続化事業

523万円

散策路の倒木・落石の除去や山頂の建物付近のWi-Fiを更新。



中川議員

寒霞溪周辺の整備により、多くの観光客が寒霞溪を訪れ、快適な島旅を楽しめるような工夫をしてもらいたい。

委員会審査報告

一般会計予算について次の意見を付しました。

【税務課】訪問税および入湯税の課税対象について調査研究されたい。

【建設課】駐車場を含めた池田港の再整備について検討されたい。

議員注目の事業

令和7年度

一般会計予算

129億2700万円

内海地区統合小学校整備事業 14億1181万円

統合小学校校舎の整備に向け、本体工事、外構工事、通学路等の整備。



谷議員

町の未来の子どもたちのために事業費は大きいですが、避けては通れない。

池田港歩道設備改良事業 4000万円

利便性向上のため、池田港フェリー乗り場の歩道屋根を拡張。



高尾議員

念願の屋根が整備される。雨天時や炎天下でも快適に乗船できるようになる。

寒霞溪シャトルバス運行事業 390万円

オリーブバスの運転手不足により寒霞溪急行線が期間限定となることから、現行の運行期間と瀬戸芸期間中無料のシャトルバスを運行。



安井議員

観光地「小豆島」を住民参加で盛り上げていく取り組みである。事故に注意し、存続していきたい。



池田港



無料シャトルバス（草壁港⇄紅雲亭）

坂手ポートターミナル管理事業 2034万円

4月から供用開始される「さかてらす」の運営を指定管理者に委託。



中松議員

瀬戸芸・万博と大きなイベントがある。関西方面からも多くの人々が来訪し、窓口として賑わうことを期待する。

法定外公共物の整備補助事業

120万円

自治会管理の法定外道路や水路の補修事業に、最大で60万円を補助。



河井議員

修繕用の材料の提供はあったが、人手が足らず利用しづらかった。新たな制度により、里道を整備しようとする自治会が増えるのではないかと期待する。



羽田議員

里道は各自治会の管理であり、保全が難しい自治会への補助金を設置した事業である。活用し、里道の整備がより一層進むことを期待する。

予算連合審査

一般会計は、総務建設常任委員会へ、特別会計および公営企業会計は教育民生常任委員会へ付託され、慎重審査の結果、原案通り可決されました。

● 3 月定例会《条例案件》 原案可決 ●

1. 犯罪被害者等支援条例 【新規】

犯罪被害者の権利利益の保護、被害の軽減・回復を図るため、必要な事項を定めるものです。

2. 企業立地促進条例 【新規】

町内への企業立地促進、流出防止・雇用拡大のため、事業者に対し、助成措置を定めるものです。

3. 印鑑条例の一部を改正する条例

印鑑登録証明書の交付の際に、個人番号カードも利用することができるようにするものです。

4. 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

栄養士法改正により、管理栄養士養成施設卒業者は栄養士の免許取得不要となることから、所要の改正を行うものです。

5. ふるさと村条例の一部を改正する条例

人件費や物価の高騰に対応するため、宿泊施設の利用料金の上限額を見直すものです。

6. 港湾管理条例の一部を改正する条例

坂手ポートターミナルに新たに設置される旅客乗降用施設および駐輪場の追加や使用料の設定を行うものです。

7. 町営住宅条例の一部を改正する条例

入居者の資格等について適正な管理を図るため、所要の改正を行うものです。

8. 町営改良住宅管理条例の一部を改正する条例

入居者の資格等について適正な管理を図るため、所要の改正を行うものです。

9. 町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

超過勤務免除の対象となる子の範囲の拡大、介護との両立など勤務環境を整備するものです。

10. 町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、規定を整備するものです。

11. 町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

番号利用法改正、刑法等の一部改正等法令により所要の改正を行うものです。

12. 地方自治法第 180 条第 1 項の規定による町長専決処分指定事項の一部改正

議決した契約について、金額の変更を伴わない工期又は納期の変更については、3 カ月以内であれば専決処分することができる事項として追加するものです。

《契約案件》

【二面分団普通積載車購入事業に係る物品購入契約および契約の変更】

▼相手方 (株)T, s L a n d

▼契約金額

802万3020円

▼納期 令和8年2月27日

【ビジネスフォンシステム導入に係る物品購入契約の変更】

納期を令和7年3月31日から12月26日に変更するものです。

【馬木ポンプ場No.2ポンプ更新工事請負契約の変更】

工期を令和7年3月31日から令和8年2月27日に変更するものです。

《人事案件》

◎教育委員

現在の委員である照下あけみ氏を引き続き任命することに同意しました。



照下あけみ氏

(任期…令和7年5月12日から4年間)

◎人権擁護委員

現在の委員である山口眞理子氏を引き続き委員として推薦することに「適任」との答申を行いました。



山口眞理子氏

(任期…令和7年7月1日から3年間)

◎農業委員

任期満了に伴い、14人の農業委員の任命に同意しました。(任期…令和7年4月1日から3年間)

○再任

- ・中澤 一博氏(池田)
- ・藤本 一弥氏(池田)
- ・向井 亮二氏(蒲野)
- ・八木 宏和氏(西村)
- ・市坂 勉氏(片城)
- ・空澤 英雪氏(安田)
- ・川崎 健司氏(安田)
- ・三宅 徳昌氏(福田)

○新任

- ・岡井 敏彦氏(蒲生)
- ・越田 正則氏(中山)
- ・三木 宗弘氏(二面)
- ・秋長 晴幸氏(神懸通)
- ・樋元 一郎氏(馬木)
- ・小坂 逸雄氏(坂手)

《その他案件》

【過疎地域持続的発展計画の変更】

過疎地域持続的発展計画に内海地区統合小学校整備事業・スクールバス整備事業を追加するものです。

【辺地総合整備計画の変更】

町内施設きょうりゅうの整備・改修、道路・橋梁の修繕等に係る事業を行うにあたり、財政上の特別措置である辺地対策事業債の発行を受けるための計画変更です。

【小豆島産業会館の指定管理者の指定】

▼指定管理者

小豆島醤油協同組合

▼期間

令和7年4月1日から
令和8年3月31日

《議員発議》

「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の速やかな改正を求める意見書」の提出

提出者 大下 淳 議員
賛成者 安井信之 議員
三木 卓 議員

【概要】

えん罪被害者を救済する制度である再審請求手続きについて、捜査機関の手元にある証拠の開示規定を定めることや再審開始決定に対する検察官による不服申し立てを認めるべきではないことについて再審法の改正を求めるものです。

※この意見書は全会一致で原案可決されました。

《令和6年度

一般会計補正予算》

(2億8730万円の減額)

※各種事業経費の決算見込み等による精算により減額補正となりました。

◎路線バス運行体制維持確保事業

4018万円

原油高騰や車両老朽化に伴う経費増による減収相当額を補助するものです。



オリーブバス

◎ふるさと納税事業

2500万円

令和6年度の寄附金見込み額を13億円とし、返礼品・手数料やふるさとづくり基金への積み立て等を行うものです。

《国民健康保険事業

特別会計》

(567万円)

小豆島中央病院で実施す

る訪問看護等在宅ケアサービスおよび医療機器購入に係る保険給付費交付金の増額によるものです。

《介護保険事業特別会計》

(1803万円)

介護サービス給付実績の精算による増額です。

第1回臨時会(1月27日)

条例案件3件、契約案件4件、予算案件2件、報告3件が提案され、原案通り可決されました。

《条例の一部改正》

【①職員の給与に関する条例等】

【②特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例】

【③議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例】

人事院の勧告に伴い、町

職員、特別職の職員、議員の給与・報酬を改正するものです。

《契約案件》

【馬木ポンプ場No.2ポンプ更新工事】

▼相手方

四電エンジニアリング(株)

▼契約金額 7370万円

【坂手港観光振興ターミナル(仮称)建設工事に係る請負契約の変更】

障害物の撤去や火災報知設備や表示物の増加等により、1億8447万円増額変更するものです。

【坂手港周辺整備工事(舗装工事)に係る請負契約の変更】

舗装箇所が増加したことによる2002万円の増額です。

【ビジネスフォンシステム導入に係る物品購入契約】

▼相手方 西日本電信電話(株)香川支店

▼契約金額 3711万円

《一般会計補正予算》

(総額8億7887万円)

◎ふるさと納税事業

7億7500万円

ふるさと納税の返礼品・手数料、基金への積み立てです。



◎令和6年度住民税非課税世帯への給付事業

7451万円

物価高騰に伴い、住民税非課税世帯への給付です。

◎給食センター調理室エアコン設置事業

799万円

夏場の高温多湿による食中毒防止等のためです。

◎町営住宅の退去修繕事業

851万円

町営住宅の退去修繕費用や給排水設備の修繕です。

◎ポンプ場修繕事業

537万円

片城・馬木・安田地区のポンプ場の修繕です。

◎図書館外壁修繕事業

500万円

雨漏り発生による修繕です。



図書館

《国民健康保険事業

特別会計》

(1億1431万円)

高額医療の増加やインフルエンザの流行等によるものです。

町政へ

一般

質問

質問

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷小豆島中央病院との連携は	安井 信之	8 ページ
▷横断歩道に感知式照明施設設置を		
▷地場産業の島外への販売強化策を	高橋 淳	9 ページ
▷オリーブバスの支援は		
▷緊急時の医療体制の整備は	中川 光秋	10 ページ
▷タウンミーティング等の開催は	羽田 満	11 ページ
▷草壁の旧高橋旅館の解体・撤去は		
▷ポータブル電源購入補助を	大下 淳	12 ページ
▷ふるさと村テニスコート残せるか		
▷高齢者の生活支援の拡充を	鍋谷真由美	13 ページ
▷観光振興で町民の生活は		
▷憲法9条の碑を設置してはどうか		

≡ 動画配信中 ≡

本会議での一般質問の様子を『YouTube』で録画配信しています



こちらから

≡ 傍聴できます ≡

本会議はどなたでも傍聴できます
『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから



やす い のぶゆき
安井 信之



質問者の動画は
こちらです

問 小豆島中央病院との 連携は

答 病院と連携し情報提供に努めたい

問 昨年町議会で説明のあった「島のお産のあり方」では、「初産と疾患のある妊婦」がセミオープンシステムを導入するということがあったが、今年の1月26日に小豆島中央病院の講演会では、「疾患のある妊婦」のみセミオープンシステムを利用するというものがあった。

科で対応しているが、住民に対して情報提供が取られていないのが問題ではないか。子供が産める環境が病院の存続に関わる。島の生き残りの共通認識を持つて対応していくべきでは。

答 昨年4月に導入した小豆島セミオープンシステムは、関係機関と協議を重ねた結果、当初の計画を変更し、初産、経産、里帰りの区別なく、ハイリスク以外であれば、医師の判断により小豆島中央病院で出産できることとなった。

議員ご指摘の通り、

正確な情報が町民全体に行き渡っていない状況にあるので、病院と連携して情報提供に努めたい。

今まで通り
ハイリスク以外の出産は
小豆島中央病院で
対応しています。



問 横断歩道に感知式 照明施設設置を

答 有効な対策を検討する

問 町の死亡事故ゼロ記録が2月2日に途絶えた。交通事故は、被害者・加害者ともにその人の人生を変えてしまうものである。高齢化率が高く、少子化が進む中、交通弱者を守ることが必要である。

街灯など照明施設がない横断歩道に町が感知式の照明施設の設置をしてはどうか。

答 横断歩道等の安全対策として、感知式照明施設も比較検討の一つとして、メリット、デメリットを検証し、町道については町で設置をすることを検討する。国道、県道については、道路管理者である県に設置を要望したい。



見えづらい夜間の横断歩道



たかはし じゅん
高橋 淳



質問者の動画は
こちらです

問 地場産業の島外への 販売強化策を

答 重層的支援を実施している

問 観光産業は島の産業を発展させるための重要な施策であると述べられているが、食品産業の島外での販売支援策の強化が必要だと思うがどうか。

答 観光振興を重要な施策としているのは、住民を守るためであり、地場産業をはじめとするあらゆる事業者を守るためである。

「主体的にがんばる事業者販路開拓支援事業」や「スーパーマーケットトレードショー」への応援等、他市町と比べて重層的な支援を実施している。また、各組合から業界発展のための具体的な方策をご相談いただければ可能な限りの支援はさせていただきます。

問 島外へ出荷する場合の運賃補助、問屋の展示会への出展補助がでないか。

答 運賃補助は交付金があり3年間実施したが、いったん使うと二度と使えない。個別の問屋の出展経費は主体的にがんばる事業者販路開拓支援事業の中で補助することができる。



オリーブバス

問 オリーブバスの支援は

答 運転手確保への対策を取っている

問 オリーブバスは、運転手の不足と経費の増加で厳しい経営状況と聞いている。運賃が上げれば乗客が減ると危惧するが見込はどうか。二種免許取得の補助や運転手の待遇改善の支援等、今後の方針は。

答 オリーブバスでは、労働条件の見直し、ハラスメント防止規定の制定等、運転手確保に向けて対策を取っており、既に大型二種免許費用の全額支援制度を設けている。運賃改定により、瀬戸芸のない年でも5500万円の収入増を見込んでいる。オリーブバスを持続可能な公共交通とするためには、運賃改定と運転手のベースアップ等を進めなければならないと考えている。

問 緊急時の医療体制の整備は

答 関係機関と検討を重ねていきたい



なかがわ みつあき
中川 光秋



質問者の動画は
こちらです

問 安心して暮らせる医療体制の整備は、町の最重要課題の一つである。

島の医療機関のあり方を明確化し、島外、高松や岡山などの医療機関との連携を強化するなど、医療体制の整備に向けた町としての取り組みが重要と考える。

特に、夜間における緊急医療体制の構築に向けて、適宜適切な救急艇での転院搬送の実施やドクターヘリの夜間運用の検討など、関係機関、団体への働きかけを積極的に行って

いく必要があると考えるが。

答 小豆地域における救急医療を担う小豆島中央病院は、開院以来、急性期から慢性期、在宅医療まで、基本的な医療を提供する基幹病院であり、住民の安全・安心な暮らしを守るため欠かすことのできない病院である。

一方、島外への救急搬送は、発生時刻や気象条件、受入先医療機関の状況によって、搬送までに時間を要したり、搬送困難となる場合がある。

夜間の緊急医療体制

の整備については、基本的な医療の提供と救急搬送の連携体制を維持していくことが重要である。

ドクターヘリについては、安全面から全国的に夜間運航を行っていない状況を踏まえ、と、実現は困難であり、現段階で県に要望する考えはない。

救急艇をはじめ、ドクターヘリを補完する、より効果的な搬送体制について、引き続き関係機関と検討を重ねていきたい。



小豆島中央病院



ドクターヘリ



はだ 羽田
みつる 満



質問者の動画は
こちらです

問 施政方針では、「まちの未来のあるべき姿の実現に向けて不退転の覚悟で取り組む」との決意を示されたが、町政を前に進めるために町民の皆さんとのタウンミーティング等の開催をしてはどうか。

答 「まちの情報お届け講座」で場所や時間、講話の内容など、町民の皆さんのニーズに合わせて話をさせていた

だくという仕組で広く門戸を開いている。ただ、課題解決を進めていく中で、申し込まれた方だけでなく違う形式が最善となる場面もあるかもしれない。多様な意見を聞くため、今後は、まちの情報お届け講座の一層の利用促進を図り、ご活用いただくとともに、形式や名称は様々であるが、タウンミー

答

最善な対話形式を検討したい

問

タウンミーティング等の開催は

ティンゲのような場を設けることも必要に応じて検討したい。



旧高橋旅館

問

草壁の旧高橋旅館の解体・撤去は

答

果敢にチャレンジしている

問 旧高橋旅館の解体撤去に向け進捗状況は。

答 所有権移転登記問題や反社会勢力との関わり等、困難極まりない案件であるが、2人の外部弁護士、庁内の弁護士も加えて、様々な方策を模索し取り組んでいる。

不動産の任意買収を求める調停申し立てや登記名義の適正化等に向け、果敢にチャレンジしている。解体・撤去に向け、引き続き協議を進め、安全な地域づくりを目指す。

問 ポータブル電源 購入補助を

答 制度の内容を検討したい



家電製品に使用

問 電気がない生活は考えられない。停電は避難所や家庭でも大きな影響がある。太陽光発電は夜間は使えず、蓄電池は高価である。ポータブル電源が役に立つ。消費電力の少な

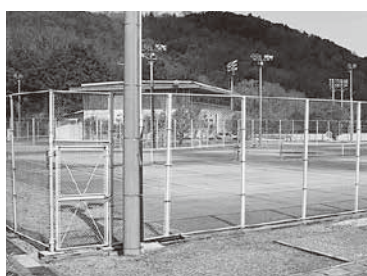
いものならほとんどの家電製品が使える。軽量で持ち運びができ、千ワット程度のもが多く、価格も10〜20万円で災害時に大変役立つ。補助金は購入のきつかけとなることから、補助制度の創設を進めていただきたい。

答 持ち運びのできるポータブル電源には優位性がある。停電など災害時には自助の推進と家庭の防災力向上に資するものであることから他の自治体の補助制度の導入状況や制度の内容について情報収集し検討したい。



充電中のポータブル電源

問 小豆島ふるさと村の再整備については、委員会を立ち上げ整備方針を検討するとされているが、委員の構成は。資料には現在あるテニスコート4面がなくなっていた。今後検討を進める中でテニスコートは無くなるのか、残せるのか、将来的にどうなっていくのか。



ふるさと村テニスコート

答 委員会の構成は学識経験者や地域関係者、観光事業者を想定している。老朽化が顕著となっているふるさと村は民間資本の導入による再整備に向けて検討を重ねてきた。これまで調査で民間事業者の参入意向が高かった宿泊ゾーンを先行して公募を行うこととしている。その他のゾーンもテニスコートなど現有施設の方向性に関しても今後、参加事業者との対話や地域の関係者からの意見を踏まえて、再整備検討委員会を検討したい。



おおした 大下
あつし 淳



質問者の動画はこちらです

問 ふるさと村 テニスコート残せるか

答 再整備検討委員会の方針検討



なべたに ま ゆ み
鍋谷 真由美



質問者の動画は
こちらです

問 高齢者の生活支援の 拡充を

答 今の取り組みの効果検証を重ねる

問 高齢者が地域で活躍し、地域を支える仕組みづくりを目指すと言われたが、「1人暮らしで頼れる親族もない」、「老々介護で大変」、「ごみ出しができない」、など困っている高齢者が多い。そういう町民を支援する具体的な取り組みの拡充は。

答 真の幸齢社会とは、年齢に関係なく地域ぐるみで助け合い、支え合いながら、誰もが安心して生き生きと暮らし暮らせるまちづくりである。

現在実施の取組について効果検証を重ねながら、さらなる拡充を目指す。

補聴器の助成事業は

まだ考えていない。ごみ出し支援は、ボランティアの育成に努めていきたい。

問 観光振興で町民の 生活は

答 観光、交流人口増で生活を守る

問 町長は民間企業の人材と投資を呼び込み特に観光振興に力を入れると言われた。

観光振興を否定するものではないが、町行政の果たす役割の最重要課題は住民福祉の増進である。

観光客や民間企業、島外資本の業者が増えることで、町と町民全体に具体的にはどのように還元されるのか。

また、オーバートリズムなど負の側面もあると思うがどうか。

答 観光振興で、観光、交流人口を呼び込まなければ、観光施設やホテルなど観光関連事業者や広範におよぶ取引事業者はもちろん、島民の生活に欠くことのできない航路や路線バスも存続できない。

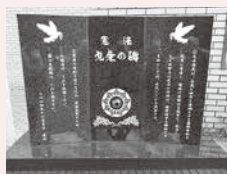
官民連携により、電動バイク等の導入による二次交通の充実、インバウンド対応のマナー啓発看板やスマートごみ箱の設置など、対策を進めている。

また、オーバートリズムなど負の側面もあると思うがどうか。

こちらも 質問

問 憲法9条の碑を 設置してはどうか

答 考えていない



視察の受入れ

【愛知県飛島村議会2月18日】

小豆島町の空き家活用について飛島村議会から行政視察がありました。空き家化の予防のため、空き家資源活用事業や「空き家お悩み相談室」による啓発活動、地域空き家対策推進委員との協力などの説明を行いました。また、補助金を活用した空き家の現地を視察しました。



飛島村議会の研修の様子

議会あれこれ

編集委員広報研修会1月30日

講師の未来交創(株)代表取締役前田安正氏から「AI時代に求められる文章」をテーマに、AIに書けない文章を書くコツや読みやすい文章の作り方についてご講演いただきました。また研修の後半では、県下9町の議会だよりについて内容やレイアウトについて改善点など助言をいただきました。今後も皆様に読んでいただけるような議会だよりにするため、広報編集委員と議員それぞれが検討・改善をして参ります。



編集委員広報研修会

12月

4日

議会運営委員会

12日

第4回定例会(1日目)

13日

教育民生常任委員会

14日

広報編集特別委員会

14日

第4回定例会(2日目)

1月

9日

広報編集特別委員会

14日

広報編集特別委員会

27日

議会運営委員会

第1回臨時会

2月

6日

全国離島振興市町村議会議長会理事会・総会・研修会

17日

香川県町村議会議長会総会

18日

香川県離島振興市町村議会議長会定期総会

20日

愛知県飛島村議会視察受入小豆郡議定会定例会

編集後記



桜の花が散り、新緑がまぶしい季節となりました。心地よい春風とともに新年度がスタートし、町も新たな歩みを進めています。

3月定例会では町長の施政方針演説が行われ、これからの町の発展に向けた方向性が示されました。また、予算委員会では、STEAM教育の推進、ローカルガストロノミーの振興など地域の未来を形作る大切な議論が交わされました。

春は希望の季節。これからの施策が実を結び、町の発展につながるよう議会としてもしっかりと取り組んでまいります。

木々が芽吹き、町も活気づくこの季節に、皆様とともににより良い未来を築いていければ幸いです。

引き続き、町議会の活動にご注目いただき、ご意見・ご協力をよろしく願います。

高尾 豊弘 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp